

令和3年度 奈良県森林審議会 概要

1. 日時：令和3年12月20日（月） 13：30～15：30
2. 場所：奈良県経済倶楽部 5階 大会議室
3. 出席委員
相河 真弓 委員、永田 晶三 委員、北村 又左衛門 委員、小杉 賢一朗 委員、
谷奥 忠嗣 委員、中村 彰男 委員、長島 啓子 委員、西田 多美子 委員、水本 実 委員、
八代田 千鶴 委員
4. 審議会の開会
 - (1) 定数報告
委員11名のうち10名の委員の出席があり、奈良県森林審議会規程第2条第2項の規定に基づき、本審議会は成立する旨事務局より報告した。
 - (2) 審議会の公開並びに議事録署名人の指名
 - ・奈良県森林審議会規程第5条第1項の規定に基づき、今回の議案については非公開とすべき内容がないため公開とされた。傍聴人5名。
 - ・議事録署名人には、水本 実 委員と長島 啓子 委員が指名された。
5. 議事及び報告事項
 - (1) 議事
 - 第1号議案 大和・木津川地域森林計画の変更計画（案）について
 - 第2号議案 吉野地域森林計画の変更計画（案）について
 - 第3号議案 北山・十津川地域森林計画の変更計画（案）について
 - 審議の結果、第1～3号議案について、全員異議無く原案どおり承認された。
 - (2) 報告事項
 - ①森林法第10条の2に基づき許可した林地開発行為について
事務局より、令和2年12月17日から令和3年12月19日までに森林法第10条の2に基づき、新規4件、変更4件、面積約21haの許可を行ったことを報告した。
 - ②新たな森林環境管理制度の取組状況について
事務局より、「森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する指針」（以後「指針」とする。）の進捗状況を中心に、森林環境管理制度への取組状況を説明した。
 - ③林地開発審査部会の開催について
事務局より、平群町櫛原地内メガソーラーについて、申請からの経緯と現在の状況を説明した。

【主な質疑等の内容】

(委員) ヘリコプター集材に係るヘリコプター会社の作業料金の上昇に伴い、木材搬出には林道整備がますます重要となる。作業道整備を含め、路網整備に引き続き取り組んでほしい。

(委員) 今後太陽光発電施設の事業期間が終了していく際に、その事業敷地の取扱について考慮してほしい。

(委員) エリートツリー、特定母樹の増加に当たり、その生産者の高齢化、後継者不足が危惧される。

(委員) 流域治水の取組で、流木災害対策は非常に重要であり、検討してほしい。

(委員) 「指針」についてはPDC Aサイクルで見直していくことになっているが、混交林化など新たな取り組み、奈良県独自の取り組みを行った結果を関係者で共有し、モデルとなるようなものにしてほしい。

(委員) 奈良県フォレスターが各市町村に配属された際には、森林内のニホンジカの分布状況も把握させ、県内のシカ害対策及びニホンジカ管理への取り組みを検討してほしい。

(委員) 降雨の際、太陽光パネルに降った雨水の流れが変わる可能性があるため、継続的なモニタリングを行うなど、適宜適切に対応してほしい。

(3) その他

①奈良県フォレスターアカデミーにおける取組状況について、事務局から学生への教育の状況、授業カリキュラムについて報告した。

②「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」及び「建築物における木材の利用の促進に関する基本方針」の概要について、事務局から報告した。